



# 東北みどり戦略だより

東北農政局 2026年 第8号

東北管内における「みどりの食料システム戦略※」の着実な進展に向け、関係の皆様タイムリーな情報をお知らせできるよう、「東北みどり戦略だより」を発行しています。

※「みどりの食料システム戦略」は、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現するため、農林水産省で策定したものです。

「みどりの食料システム戦略」  
の詳細はこちら→



<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/>



## みどり認定の取得はお早めに！

農林水産省では、新しい食料・農業・農村基本計画に基づき、令和9年度を目標に、現行の環境保全型農業直接支払制度※1を見直し、みどりの食料システム法の認定を受けた農業者を対象とした新たな環境直接支払制度に移行するための検討を行っています。現行の環境保全型農業直接支払交付金をもらっている農業者の方が、新たな環境直接支払交付金の交付対象となるためにはみどり認定の取得が必要となります。

みどり認定の取得をお考えの方は、お早めの手続きをお願いします。

### みどり認定とは？

みどりの食料システム法に基づいて、環境負荷低減に取り組む農林漁業者が作成する実施計画を都道府県が認定する制度です。

みどり認定等  
について



▲東北地方でみどり認定を受けた生産者をご紹介します。

#### みやぎ登米農業協同組合

(宮城県登米市)

水稻生産者1,379名のグループでみどり認定を受けています。化学肥料・化学農薬の施用量を県慣行の1/2以下に低減し、環境と人にやさしい米づくりを実践しています。毎年、「田んぼのいきもの調査」を行い、その成果を確かめています。



「田んぼのいきもの調査」実施風景

### みどり認定を受けるとどんなメリットがあるの？

- ① 設備投資等の際の所得税・法人税の優遇→都道府県知事の認定を受けた生産者が一定の設備等を新たに取得等した場合に、特別償却（機械等32%、建物等16%）の適用が受けられます。
- ② 国庫補助事業採択での要件や加点の優遇措置→みどりの食料システム戦略推進交付金、強い農業づくり総合支援交付金、畜産経営体生産性向上対策、農地利用効率化支援交付金など多くの事業で要件化等を行っています。
- ③ 日本政策金融公庫の無利子融資等の貸し付けを受けられます※2。

※1 環境保全型農業直接支払制度とは、化学肥料・化学合成農薬を原則5割以上低減する取組と合わせて行う地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い営農活動を支援するものです。

※2 融資には別途審査があります。

## 令和7年度補正予算と令和8年度予算概算決定

「令和7年度農林水産関係補正予算の概要」と「令和8年度農林水産関係予算概算決定の概要」を公表しました。みどりの食料システム戦略による環境負荷低減に向けた取組強化に向けては、以下の施策をはじめとした令和7年度補正予算を確保し、令和8年度予算が概算決定されています。

みどりの食料システム戦略推進総合対策 6億円（R8年度概算決定）  
※R7年度補正：40億円  
環境と調和のとれた食料システムの確立に向けたモデル的取組の横展開や有機農業の取組拡大等を支援。

概要は  
こちら→



R7年度補正  
予算の概要  
はこちら  
→



環境保全型農業直接支払交付金 28億円（R8年度概算決定）  
化学農薬・化学肥料を原則5割以上低減する取組と合わせて行う地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い営農活動を支援。

概要は  
こちら→



R8年度予算  
概算決定の  
概要はこちら  
→



## 有機農業の日に関連イベントを開催



有機農業の日（12月8日）に合わせた関連イベントが各地で開催されました。このうち、東北農政局が主催したイベントをご紹介します。

### つながる オーガニックデイ in 秋保

宮城県仙台市の秋保ヴィレッジアグリエの森で、12月7日、お茶の井ヶ田株式会社と共催で「つながるオーガニックデイin秋保」を開催しました。

イベントでは、秋保ゆうきの会の生産者による直売コーナー、牛の模型による乳しぼり体験、カボチャの種を使った「みっちゃん」マグネット作り、農政に関する情報提供などを行い、来場者の皆様に楽しみながら有機農業などに触れていただきました。



直売コーナー



楽しくマグネット作り♪



有機弁当美味しいよ！

### 有機農産物等を活用したお弁当の販売

東北農政局では、12月8日、職員の有機農産物への理解を深めることを目的として、職員を対象に有機農産物等を活用したお弁当の販売イベントを行いました。環境保全米や農薬・化学肥料不使用の野菜などを使用したお弁当は、好評で完売となりました。今後も様々な機会を捉えて、有機農産物への理解が深まるよう取組を進めていきたいと思ひます。

## 環境負荷低減の見える化



みえるらべる

温室効果ガス削減や生物多様性の保全の取組を分かりやすく等級ラベルで表示します。



## J-クレジット制度

CO2等の排出削減量などをクレジットとして国が認証する制度。クレジットの売買が可能です。



## J-クレジット制度



## みどりチェック (クロスコンプライアンス)

農林水産省の補助金等の交付を受ける場合に、最低限の環境負荷低減の取組を実施していただきます。



## 第2回みどり戦略学生チャレンジ東北ブロック大会 交流会

第2回みどり戦略学生チャレンジ東北ブロック大会の交流会をオンラインで開催しました（高校の部：12/9、大学・専門学校：12/10）。

みどり戦略学生チャレンジとは、学生にみどりの食料システム戦略に基づいた取組を実践していただく取組です。交流会では、高校の部10チーム、大学・専門学校の部3チームにご参加いただき、各チームから取組内容の発表、質疑応答や意見交換が活発に行われ、他校や若手職員との交流を深めていただきました。

みどり戦略学生チャレンジの詳細情報は [こちらから](#)



参加学生からいただいた感想等を一部ご紹介します。

- 長期間の研究データを集計しており本格的だった。
- 自分たちとは違う分野の意見が聞けて大変参考になった。
- 本交流会を参考に自分たちの研究をさらに進化させたい。

### ○「第2回みどり戦略学生チャレンジ」今後のスケジュール

- 全国大会（表彰式・交流会）：令和8年2月14日（土）
- 東北ブロック大会表彰：令和8年2月中旬以降



みっちゃんのミドミド♪ #6 2026年もよろしくお祈りします



作・ゆみ☆マルキン

◆ 「東北みどり戦略だより」の問合せ先：東北農政局企画調整室総括チーム 022-263-1111（内線4080、4405、4259）

